

「日本の美」総合プロジェクト懇談会（第4回） ジャポニスム2018総合推進会議（第1回）

議 事 次 第

日時：平成28年11月24日（木）
17時30分～18時45分
場所：官邸2階小ホール

1 開 会

2. 総理挨拶

3 議 事

- （1）イタリア「日本仏像展」の開催結果について
- （2）ジャポニスム2018の経緯等について
- （3）ジャポニスム2018のタイトル、コンセプト、開催時期等について
- （4）ジャポニスム2018の企画案の検討状況について
- （5）意見交換

4 閉 会

《配布資料》

- 資料1 ジャポニスム2018総合推進会議運営要領（案）
- 資料2 「日本仏像展」の開催結果について
- 資料3 ジャポニスム2018について
- 資料4 ジャポニスム2018の開催準備等に関する関係府省連絡会議の開催について（平成28年6月2日内閣総理大臣決裁）
- 資料5 ジャポニスム2018総合推進会議の開催について（平成28年11月24日内閣総理大臣決裁）
- 資料6 ジャポニスム2018 タイトル・コンセプト（案）
- 資料7 ジャポニスム2018の実施体制
- 資料8 リオ・ジャパンハウスにおけるジャポニスム2018の広報
- 資料9 ジャポニスム2018 現段階での企画案企画案

平成 28 年 11 月 24 日

ジャポニスム 2018 総合推進会議運営要領（案）

ジャポニスム 2018 総合推進会議（以下「総合推進会議」という。）の運営については、この運営要領の定めるところによるものとする。

1. 総合推進会議は非公開とし、会議終了後、議事要旨及び総合推進会議で配布された資料を速やかに公表する。ただし、議長が特に必要と認めるときは、議事要旨又は配布資料の全部又は一部を公表しないものとすることができる。
2. 総合推進会議終了後、原則として、総合推進会議の事務局が記者ブリーフを行い、議事内容を説明するものとする。

「日本仏像展」の開催結果について

○会 期：平成28年7月29日（金）～9月4日（日）
（7月28日（木）に内覧会・レセプション）

○会 場：クイリナーレ宮美術館（イタリア・ローマ）

○内 容

- ・飛鳥時代から鎌倉時代までの21件（35点）の仏教彫刻を展示
- ・展覧会の準備過程では、イタリア側研究者と随時連携

○来場者数：12,515人（28日の内覧会参加者等を含む）

【イタリア側の主な来場者】

- ・マッタレッタ 大統領
- ・フランチェスキーニ 文化財・文化活動・観光大臣
- ・ジエンティローニ 外務・国際協力大臣
- ・ラッジ ローマ市長
- ・ウヴェルティーニ ボローニャ大学長 など



マッタレッタ大統領の内覧



安倍総理大臣挨拶を代読する
河井内閣総理大臣補佐官
（開会レセプションにて）

○イタリアでの報道状況（把握分）

- ・テレビ：2件
- ・新聞：125件
- ・雑誌・WEB：11件

※このほか新聞記事のインターネット版が多数



イタリアでの報道例

○来場者の反応

【アンケート結果】

- ・ 好意的な評価が 84%（「とてもよかった」 51%、「よかった」 33%の合計）

【来場者のコメント例】

- ・ 本当に美しく、興味深い展覧会でした。短い時間しか観覧できなかったことが残念！ここに出品されていた作品の美しさを堪能するために、一日中でも留まっていたいくらいです。
- ・ とても興味深い展覧会で、今すぐにでも日本に向けて飛行機に飛び乗りたい気持ちになりました。
- ・ 極めて興味深く、また教育的な内容でした。関連する時代などについての解説パネルをもう少し見たいところでしたが、それでも多様な作品を目にすることができ、貴重な経験を得ることができました。ありがとうございました。
- ・ このような驚くべき美を具えた像を目にする機会を与えてくださり、感謝しています。長く日本を離れているからこそ、こうした展覧会の価値というものを感ずることができます。（イタリア在住の日本人）



会場の様子

「日本仏像展」出品リスト



| No | 指定 | 名称／作者 | 員数 | 所在地 | 所有者 (寄託館) | 時代 | 作品サイズ (1点) H×W×D cm | 写真 |
|----|-------|---------|-----|-----|------------------------|----------------|---------------------------|----|
| 1 | 重要文化財 | 釈迦如来像 | 1 軀 | 東京 | 深大寺 | 飛鳥時代 (7世紀) | 84×33×46 | |
| 2 | 重要文化財 | 梵天像 | 1 軀 | 奈良 | 秋篠寺 (奈良国立博物館 寄託) | 奈良時代 (8世紀) | 257×90×90 | |
| 3 | 重要文化財 | 維摩居士像 | 1 軀 | 奈良 | 法華寺 | 奈良時代 (8世紀) | 92×68×75 | |
| 4 | 重要文化財 | 伎楽面(乾漆) | 1 面 | 東京 | 文化庁 | 奈良時代 (8世紀) | 31×26×25 | |
| 5 | 重要文化財 | 伎楽面(木造) | 1 面 | 東京 | 文化庁 | 奈良時代 (8世紀) | 36×24×19 | |
| 6 | 国宝 | 薬師如来像 | 1 軀 | 奈良 | 元興寺 (奈良国立博物館 寄託) | 平安時代 (8世紀) | 179×52×34 | |
| 7 | 重要文化財 | 天王像 | 1 軀 | 東京 | 文化庁 | 平安時代 (10世紀) | 193×70×63 | |
| 8 | 重要文化財 | 男神像 | 1 軀 | 富山 | 射水神社 | 平安時代 (10世紀) | 121×70×50 | |

| | | | | | | | | |
|------|-------|------------|-----|----|---------|------------------|-------------|--|
| 9 | 重要文化財 | 泰山府君像／康清作 | 1軀 | 奈良 | 東大寺 | 鎌倉時代 (1237年) | 140×161×100 |  |
| 10-1 | 重要文化財 | 毘沙門天像／湛慶作 | 1軀 | 高知 | 雪蹊寺 | 鎌倉時代 (13世紀) | 191×86×61 |  |
| 10-2 | 重要文化財 | 吉祥天像／湛慶作 | 1軀 | 高知 | 雪蹊寺 | 鎌倉時代 (13世紀) | 101×48×16 |  |
| 10-3 | 重要文化財 | 善膩師童子像／湛慶作 | 1軀 | 高知 | 雪蹊寺 | 鎌倉時代 (13世紀) | 94×46×36 |  |
| 11 | 重要文化財 | 釈迦如来像／院賢作 | 1軀 | 東京 | 文化庁 | 鎌倉時代 (1230年頃) | 127×52×42 |  |
| 12 | 重要文化財 | 十大弟子像／院賢作 | 10軀 | 京都 | 京都国立博物館 | 鎌倉時代 (1230年頃) | 63×20×20 |   |
| 13 | 重要文化財 | 十一面観音像 | 1軀 | 奈良 | 奈良国立博物館 | 平安時代 (8世紀) | 53×26×26 |  |
| 14 | — | 阿弥陀如来坐像 | 1軀 | 京都 | 京都国立博物館 | 平安時代 | 140.2 |  |

| | | | | | | | | |
|----|-------|--------------------|----|----|---------|-----------------|-----------|---|
| 15 | — | 雲中供養菩薩像 | 1軀 | 東京 | 文化庁 | 平安時代 (1053年) | 58×40×13 |  |
| 16 | 重要文化財 | 多聞天立像 | 1軀 | 奈良 | 奈良国立博物館 | 平安時代 | 155.5 |  |
| 17 | 重要文化財 | 十二神将像 | 4軀 | 山形 | 慈恩寺 | 鎌倉時代 (13世紀) | 138×49×36 |  |
| 18 | — | 阿弥陀如来像 | 1軀 | 東京 | 東京国立博物館 | 鎌倉時代 (13世紀) | 146×60×48 |  |
| 19 | — | 地藏菩薩像 | 1軀 | 東京 | 東京国立博物館 | 鎌倉時代 (13世紀) | 139×53×40 |  |
| 20 | 重要文化財 | 僧形像 | 1軀 | 京都 | 東福寺 | 鎌倉時代 (13世紀) | 83×75×55 |  |
| 21 | 重要文化財 | 如意輪観音像 (六観音のうち) | 1軀 | 京都 | 大報恩寺 | 鎌倉時代 (1224年) | 233×75×60 |  |

1. 経緯

- 「『日本の美』総合プロジェクト懇談会」(主催:安倍総理, 座長:津川雅彦氏)において, 大規模な日本文化紹介行事を海外で実施する構想につき議論。
- これを踏まえ, 本年5月, 安倍総理からオランダ仏大統領に対し, 日仏友好160周年に当たる2018年, パリを中心に, 「ジャポニスム2018」を実施することにつき協力を要請。

2. 概要

- 2020年の東京オリンピック・パラリンピック大会を見据え, 世界中の人々の日本への関心を喚起すべく, 官民連携で数十の企画を実施。
- 歌舞伎, 能, 文楽, 雅楽等伝統文化から, 現代演劇・美術やマンガ・アニメ展, 日本映画の上映等を企画実施。若冲展, 琳派展や, 日本文化の原点とも言うべき縄文展も追求。
- 東北をはじめとする日本のお祭りを実施し, 地方の魅力を発信。震災復興, インバウンド観光の促進, 和食・日本酒等日本産品の輸出促進にも繋げる。
- 日仏を初めとする二国間関係の更なる増進に寄与することを目指す。

3. 今後のスケジュール

- 2018年: パリを中心に, 「ジャポニスム2018」を実施。
- 2019年: (他地域にも展開。)
- 2020年: 東京オリンピック・パラリンピック大会



ジャポニスム 2018 の開催準備等に関する関係府省連絡会議の開催について

平成 28 年 6 月 2 日
内閣総理大臣決裁

- 1 現在、日仏間においては、日仏友好 160 周年である 2018 年（平成 30 年）に、日本文化の粋を集め、その多様かつ普遍的な魅力を発信する「ジャポニスム 2018」をパリで開催することが合意されているが、今後、その具体化及び開催準備並びにその後の展開等に関し、2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の機運醸成や訪日外国人観光客の拡大等も見据えつつ、関係府省の緊密な連携を図りながら政府全体の総合調整を行うため、ジャポニスム 2018 の開催準備等に関する関係府省連絡会議（以下「連絡会議」という。）を開催する。
- 2 連絡会議の構成は、次のとおりとする。ただし、議長は、必要があると認めるときは、関係者の出席を求めることができる。

| | |
|------|--|
| 議長 | 内閣官房副長官（参） |
| 議長代行 | 内閣官房副長官（事務） |
| 副議長 | 内閣官房副長官補（内政担当） 内閣官房副長官補（外政担当） |
| 構成員 | 内閣官房内閣審議官（内閣官房副長官補付） 内閣官房東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会 推進本部事務局企画・推進統括官 内閣府知的財産戦略推進事務局次長 総務省情報通信国際戦略局長 外務省国際文化交流審議官 国税庁長官官房審議官 文化庁次長 農林水産省食料産業局長 経済産業省商務情報政策局長 観光庁次長 |
- 3 連絡会議の庶務は、外務省及び文化庁の協力を得て、内閣官房において処理する。
- 4 前各項に定めるもののほか、連絡会議の運営に関する事項その他必要な事項は、議長が定める。

ジャポニスム 2018 総合推進会議の開催について

平成 28 年 11 月 24 日
内閣総理大臣決裁

1. 趣旨

現在、日仏政府間においては、日仏友好 160 周年である 2018 年(平成 30 年)に、日本文化の粋を集め、その多様かつ普遍的な魅力を発信する「ジャポニスム 2018」を、パリを中心に開催することが合意されている。今後、2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の機運醸成や訪日外国人観光客の拡大等も見据えつつ、ジャポニスム 2018 の具体化及び開催準備並びにその後の展開等に係る審議を行うため、ジャポニスム 2018 総合推進会議（以下「推進会議」という。）を開催する。

2. 構成

- (1) 推進会議の構成は、別紙のとおりとする。ただし、議長は、必要があると認めるときは、関係者に出席を求めることができる。
- (2) 推進会議に総括主査及び主査を置く。総括主査及び主査は、推進会議における議論の整理に向けた調整を行う。
- (3) 推進会議に議長補佐を置く。議長補佐は、推進会議において議長を補佐し、議論の内容を踏まえて、ジャポニスム 2018 の推進に関し関係府省と必要な調整を行う。

3. その他

- (1) 推進会議の庶務は、外務省及び文化庁の協力を得て、内閣官房において処理する。
- (2) 前各項に定めるもののほか、推進会議の運営に関する事項その他必要な事項は、議長が定める。

(別紙)

| | | |
|--------|-------|------------------------------|
| 議長 | 安倍晋三 | 内閣総理大臣 |
| 構成員 | 岸田文雄 | 外務大臣 |
| | 松野博一 | 文部科学大臣 |
| (議長補佐) | 野上浩太郎 | 内閣官房副長官 |
| | 河井克行 | 内閣総理大臣補佐官（ふるさとづくり推進及び文化外交担当） |
| (総括主査) | 津川雅彦 | 「日本の美」総合プロジェクト懇談会座長、俳優・演出家 |
| (主査) | 安藤裕康 | 元駐イタリア大使 |
| | 内永ゆか子 | NPO法人J・Win理事長 |
| | 串田和美 | 俳優・演出家 |
| | 幸田真音 | 作家 |
| | 小林 忠 | 美術史学者（江戸時代絵画史）、岡田美術館長 |
| | 千 玄室 | 茶道裏千家 前家元 |
| | 林真理子 | 作家 |
| | 森口邦彦 | 染色家、友禅作家 |

1. タイトル 「ジャポニスム 2018：響きあう魂」

2. コンセプト

ー2018 年は日仏友好 160 年の節目の年である。日本が近代化の扉を開け、欧米に学ぼうと門戸を開いた明治の時代が始まって 150 年の記念すべき年でもある。日本が欧州と遭遇した 19 世紀、欧州にはジャポニスムの旋風が巻き起こった。2018 年、再びフランスの地において、改めて「ジャポニスム 2018」を実施する意義は何か。

ー奇しくも 2018 年は、20 世紀初頭に駐日フランス大使を務め、劇作家、詩人でもあるポール・クローデルの生誕 150 年である。稀代の知日派である彼は、エッセー「日本のこころを訪れる眼」（“Un Regard sur l'Âme Japonaise”）の中で、次のように論じた。すなわち、日本人は自然の中に人間を超越する崇高なものが宿っていることを感知し、自我を主張するよりも、これらに対して恭敬の気持ち（respect と révérence）を持つところが優れた特性である。そして、日本の絵画や文学の中にこの日本人の特性たる「魂のうるほひ（l'humidité de l'âme）」が表現されているのだ、と。

ー確かに、日本人は、常に外部からの異文化を取り入れ、自らの文化に融合させることで、伝統を継承しつつも、新しい文化を創造してきた。多様な価値がひしめき合う列島で、それらが時に調和し、時にぶつかり合いながらも共存するところにこそ、善悪を超えた「美」があると評価してきた。「異物の混在とその調和」という、互いに矛盾し相反するものを総体で捉え、「二つでひとつ」となったときの調和を美しいと感じる感受性を持っている。物質から離れた精神性を大自然から感じ取り、たとえ災害に遭っても自然を畏敬する姿勢を貫いている。まさに、クローデルが洞察した日本の美意識そのものである。

ー19 世紀のフランスでは、当時最も先端的であった芸術が、日本の新しい表現によって好奇心を喚起された。その後 150 年を経て、我々の社会は大きく変化した。フランスの人々やアーティストの視線を現代日本へと向けさせるのは、この同じ新しさの探求である。現代日本は発想（インスピレーション）と革新（イノベーション）の源泉であり続けている。

ーフランス人は、世界に冠たる歴史と芸術・文化を持ち、高度な精神文化を有する国民である。だからこそ、2018 年の「ジャポニスム 2018」を通じて、日本とフランスは、感性を共鳴させ、協働することができるであろう。そして、そのような魂の響き合いを通じて、21 世紀の国際社会が直面している新たな諸課題にも協力して対処していくための糸口を発見することができるのではないだろうか。

ー1 世紀以上前に日本の浮世絵の発見が引き起こした美的衝撃と同じように、「ジャポニスム 2018」は、現代日本の創造の活力と人を魅了する力を再び証明するだろう。人を驚かせ、絶え間なく伝統を刷新し、新しい世代のアーティスト、デザイナー、建築家、映画人を披露する、これが「ジャポニスム 2018」の挑戦である。

「水の上に 水のひびき 葉のうへに さらに葉のかげ」
山内義雄訳 クローデル詩集「百扇帖」より

ジャポニスム2018総合推進会議

議長：安倍総理、総括主査：津川雅彦氏
議長補佐：野上副長官、主査：安藤元駐イタリア大使
構成員：岸田外務大臣、松野文科大臣、河井補佐官、
「日本の美」懇談会メンバー

「日本の美」総合プロジェクト懇談会

座長：津川雅彦氏 ※総理出席

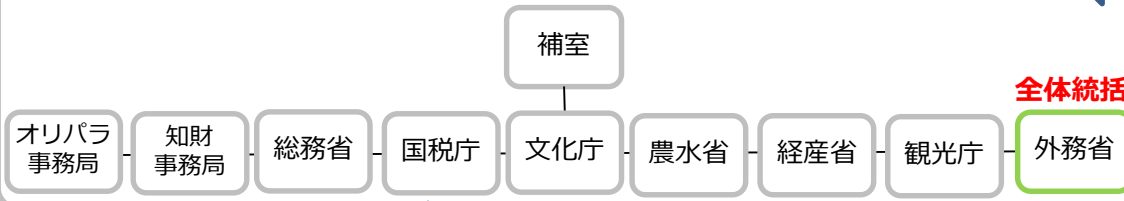
適宜助言等

仏大統領府

ジャポニスム2018の開催準備等に関する関係府省連絡会議

各省庁間の連携・調整

議長：野上副長官、議長代行：杉田副長官
副議長：古谷副長官補、兼原副長官補
(関係省庁局長級)



国際交流基金

ジャポニスム事務局

企画の立案・実施

事務総長：安藤国際交流基金理事長
事務局長：佐藤元駐キューバ大使

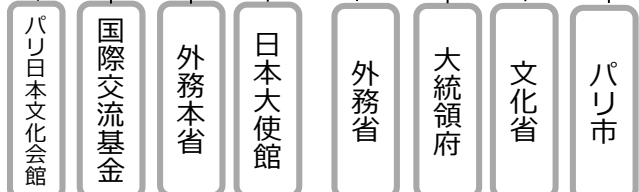
日仏合同委員会

(現地での調整)

日：木寺駐仏大使

仏：マセ外務次官

協働



(仏側事務局)

調整

リオ・ジャパンハウスにおけるジャポニスム2018の広報

- リオにおけるオリンピック・パラリンピックの期間中，ジャパン・ハウスにおいて，ジャポニスム2018の事前広報を下記の方法で実施。
- ブラジル政府要人が来場するなど，高い集客率を誇る会場にて広報することで，機運醸成に貢献。

1. パネル

- パネルを作成し，以下の場所で展示。
 - － 府省庁エリア（2基）
 - － 文化体験エリア（1基）



2. 映像

- 静止画を作成し，府省庁エリアで総務省が展示する4 Kテレビで放映。

（総務省，観光庁の協力。）

3. パンフレット

- パンフレットを作成し，以下の場所で配布。
 - － 府省庁エリア（観光庁，文化庁の協力。）



「ジャポニスム 2018」 現段階での企画案

平成28年11月現在、以下の企画案を検討中です。（今後の検討、調整や交渉の結果、変更になることがあります。）

1 展覧会

| 企画案 | 備考 |
|-------------------|--|
| 「日本の美意識」展 (仮称) | 「日本の美意識」を主題に、「ジャポニスム2018」の基本コンセプトを提示する、いわば全企画の「目次」展。会場となる予定のラ・セーヌ・ミュージカルは、坂茂設計により、2016年末に完成予定。 |
| 伊藤若冲展 | 米国ワシントンD.C.や東京で開催した展覧会が多数の観客を集め話題になった伊藤若冲(1716-1800)を、パリで初めて本格的に紹介。 |
| 琳派展 | フランス初の本格的な琳派展。琳派を代表する作品と、その流れを継承する近現代美術について世界的な視点で捉え直す。 |
| 縄文展 | 世界で最も古い土器群の一つである縄文土器、土偶、装身具、工芸品等を通じ、日本美術の原点たる豊かな縄文の美と、縄文人の世界観を紹介。 |
| 奈良仏像展 | 奈良県主催で奈良に伝わる国宝級の仏像を紹介。 |
| 明治展 | 明治150年を機に、写真、工芸、洋画・日本画等多様なジャンルの作品展示を通して、近代日本のアイデンティティ形成の歩みを探る試み。 |
| 神坂雪佳展 | 琳派の流れを継承した神坂雪佳(1866-1942)を中心に、近代日本の美術、工芸を紹介。 |
| 工芸展 | これまで十分に公開されて来なかったフランス国内に所蔵されている日本の工芸品を中心に、現代工芸、デザインやファッション等を加えて、日仏交流の視点に基づき紹介。 |
| 藤田嗣治展 | エコール・ド・パリの画家として日仏で活躍し、世界の脚光を浴びたフジタ(1886-1968)の本格的な個展を、没後50年を機にパリで初めて計画。 |
| 現代美術・建築展 | 現代美術、建築、映画、演劇、シンポジウム等、現代の日本をジャンルを横断して紹介。 |
| 子どもとアート展 | 日本の漫画家によるシナリオをもとに、日仏キュレーターが共同で現代美術展を企画。 |
| マンガ・アニメ・ゲーム展 | 2015年の国立新美術館における展覧会が話題を呼んだ、現代日本のマンガ、アニメ、ゲームを取り上げ、その表現の多様性を概観。 |
| チームラボ展 | ミラノ万博やシリコンバレーでの個展等海外でも活躍している、チームラボによる大規模なデジタル・アートの展覧会を夏休み期間に実施検討中。 |
| 前衛書道展 | 日本を代表する前衛書道家の作品展を実施する。 |
| 大型モニュメント展示 | パリの中で多くの人が行きかう屋内外のオープン・スペースに、現代美術家や建築家が制作する大型モニュメントを展示。 |

「ジャポニスム 2018」 現段階での企画案

平成28年11月現在、以下の企画案を検討中です。（今後の検討、調整や交渉の結果、変更になることがあります。）

2 舞台公演

| 企画案 | 備考 |
|-------------|---|
| 歌舞伎公演 | 2007年のパリ・オペラ座での公演以来となる本格的な歌舞伎公演。 |
| 能・狂言公演 | 伝統的演目を中心とした能及び狂言公演。 |
| 雅楽公演 | 舞楽を含む本格的雅楽公演。 |
| 「三番叟」公演 | 能の演目の中においても特別な機会に上演される『三番叟』公演。 |
| 現代演劇（蜷川幸雄） | 『海辺のカフカ』等の蜷川幸雄演出作品の上演を検討中。 |
| 現代演劇（野田秀樹） | 野田秀樹演出による作品上演を検討中。 |
| 現代演劇シリーズ | フランスでまだ紹介される機会の多くなかった演出家や演目を選び、日本の現代演劇をシリーズで紹介。 |
| ダンス公演 | コンテンポラリー・ダンス公演。 |
| 初音ミク公演 | 世界注目のボーカロイド・ソフト、初音ミクによる公演を検討。 |
| 日本芸能フェスティバル | 和太鼓、文楽、日本舞踊等を、秋と冬の週末を使って、フェスティバル形式で紹介。 |

「ジャポニスム 2018」 現段階での企画案

平成28年11月現在、以下の企画案を検討中です。（今後の検討、調整や交渉の結果、変更になることがあります。）

3 その他

| ジャンル案 | 備考 |
|------------|---|
| 映画 | 未だに知られていない優れた作品を取り上げ、「日本映画の100年」を紹介する特集上映。100年の回顧シリーズと現代作品シリーズの実施を予定。 |
| テレビ | 日仏によるテレビ番組共同製作や日本のコンテンツのフランスでの放送の可能性を探る。 |
| 文学・俳句 | 知日派の劇作家・詩人で外交官のポール・クローデル(1868-1955)生誕150周年記念事業他を検討。 |
| 食文化・日本産酒 | |
| 祭り | 日本の各地域・地方に根ざした、多様で豊かな祭りを紹介。 |
| 禅 | 講演会・シンポジウム、坐禅会等を通じ、禅の精神を紹介。 |
| 茶道 | 茶会(野点)等。 |
| 華道 | |
| 武道 | |
| 庭園・盆栽 | |
| 花火 | |
| 講演会・シンポジウム | |
| その他 | |